

～受験体験記～

【受験部門】：総合技術監理部門（環境部門－自然環境保全科目）

【受験者】：ジャイアン（1976生）

1, はじめに

私は平成26年度の試験で環境部門（自然環境保全科目）を取得しました。翌年から建設部門（建設環境科目）を受験し、口頭アウトも経験しながら令和2年度の試験で取得できました。当時の体験記はSUKIYAKI塾HPにアップされています。

2, 受験成績（総合技術監理部門）

●令和6年度：択一：20/40 論文：？ 総合：B

●令和7年度：択一：26/40 論文：？ 総合：A

3, 受験のきっかけ

環境部門を取得後、SUKIYAKI塾の講師として仲間に入れてもらいました。活動していくうちに、「総監受けないの？」という無言の圧力のようなものを感じていました。そんなとき、会社で次長という立場になり、部内全般のマネジメントを担うことになりました。また、講師の先輩が総監の受験を決意して頑張っている姿を見て、「受けてみようかなあ」という感じで受験を始めました。

4, 出願

講師の大先輩である「玉川多摩ちゃん」、地元が近い「地方の土方さん」からご指導をいただきました。お二人合わせて14案まで作成してOKをいただきました。出願書類の作り込みを通じて、総監の考え方って仕事の役に立ちそうだなあと感じていました。この期間は割と楽しかったです。

5, 筆記試験

（1）令和6年度

建設環境取得後3年間受験をお休みしている間にすっかり勉強するクセが抜けてしまいました。また、出願のときと違って勉強が楽しくなかったです。準備不足のまま受験し、不合格でした。

択一：経済性管理：4/8 人的資源管理：4/8 情報管理：3/8 安全管理：5/8

社会環境管理：4/8 計：20/40

(2) 令和7年度

昨年同様、ぜんぜん勉強に身が入りません。今年もダメだろうなあと思いつつ受験しました。ところが、択一は直感がよく当たり、6割とれました。論文の採点はわかりませんが、とりあえず筆記試験の合格発表は必ず確認しようと思いました。

択一：経済性管理：7/8 人的資源管理：5/8 情報管理：5/8 安全管理：6/8
社会環境管理：3/8 計：26/40

6. 口頭試験

11月4日、筆記試験の合格発表日。受かっているとは思っていませんでしたが念の為に朝イチで合格番号をチェック。。おや？、環境部門（自然環境保全科目）の総監は合格者が一人だ・・・F? 仙台?・・・ん?・・・え～なんで～!? って感じでした。

SUKIYAKI 塾の皆さんに報告したところ、早速本日から口頭模擬試験を実施してくれるとのこと。総監は人によっていろいろな考え方があから、沢山のから模擬試験をやってもらった方がいい。という助言をいただき、その後は・・・口頭試験前日の1月9日まで、計13人の方々から述べ21回の模擬試験を実施していただきました。

最初のうちは、総監の考え方をまったく理解しておらず、模擬試験官から「では、総監的な視点で・・・」と言われただけで胸が苦しくなりました。

年末年始あたりで模擬試験回数が15回をこえ、この頃は人間不信になりかけていました。TV番組のプレバトで芸能人の俳句を講評する「夏井いつき」が嫌いになりました。

試験1週間くらい前になっても自信がつかず、受験に向けて前泊したホテルでもWEB模擬試験を実施してもらいました。

そしてついに迎えた試験本番。ところが、一生懸命勉強した5管理のことやトレードオフ、仮想事例など一切聞かれず20分ジャストくらいで試験が終了。試験会場からホテルに直行して再現を作成しました。試験終了後30分以内に再現の作成を始めたので精度は高いと思います。以下に示します。

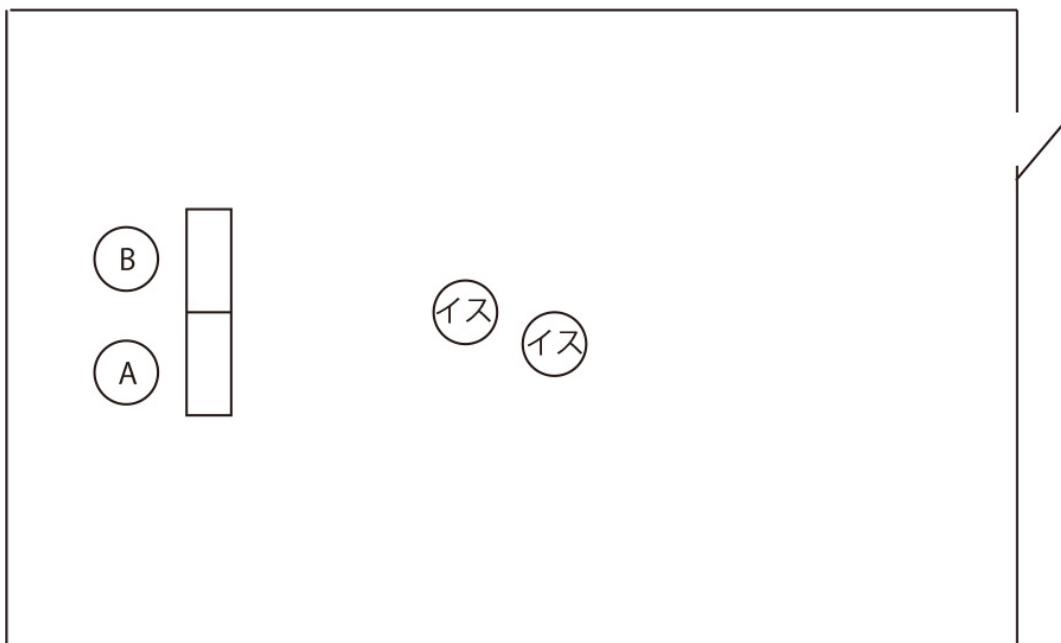
2026年1月10日10:45~11:04

TKP カンファレンスセンター 3F カンファレンスルーム 3B

受験科目：総合技術監理部門－環境部門（自然環境保全）

試験官2名：A（50代大柄で怖そうだったけど温和）

B（70代？のおじいちゃんで声が小さく話し方もゆっくり）



9:30に会場入り、受付後に控室で待機。6分前に試験室の前に向かうと、ちょうど前の受験者が退室してきた。会釈を交わす。試験時間ピッタリに試験官Bが呼びにきた。Bは少し腰が曲がっている・・・

（会場は広くて天井も高い。後日ネットで調べたら最大収容人数90名の部屋だった。でも声は聞き取りやすかった。）

B：椅子が2つあるので後ろの椅子に荷物をおいてお待ち下さい。

B：それでは受験番号とお名前をお願いします。

B：それでは、あなたの口頭試験を始めます。

（経歴・業務内容の詳細のプレゼンは無し）

A：御社は環境調査を仕事としている会社という認識でいいですか？

私：ボーリングをする部署や設計、水質をやっている部署もありますが、私が所属しているのは環境部で自然環境調査をしています。

A：会社は何人いるんですか？

私：62名います。

A：環境部には何人いるんですか？

私：22名です。

A：経歴を見るとダム事業に多く関わっているようですが継続している業務ですか？

私：はい、同じダムで国交省です。

A：この業務は単純にイトモを移植した業務だと思いますが、国交省のほかにはどのような仕事をしていますか？

私：県や農政局の仕事があります。また、民間から風力の仕事を受けています。

A：そういったところから仕事を受けてアセスのようなことをやっているんですか？

私：はい。

A：この業務内容の詳細のイトモの移植の話は急に上がったんですか？

私：事業工程が変更になって急でした。本来であれば2年後に移植予定でした。

A：事業がどのように変わったのですか？

私：残土置き場として使用予定だったのですが、ほかの残土置き場が埋まってしまい、急遽となりました。

A：このイトモについて、私は専門外なのですが、こういった植物ですか？

私：小さな水草です。

A：保全対象種ってアセスとかで以前から決まっていたんですよね？

私：はい。このダムでは6種の保全対象種があって、イトモを除く5種は活着していたんですが、イトモだけ消失していたことから再移植した業務です。

A：この残土置き場は将来的にダムに沈むんですか？

いいえ、堤体の下流側にあり沈みません。ただ、住民は移転していて最終的には村に返却する土地です。

A：私からは以上です。

B：このイトモについてももう少し教えてほしいんですが、根っこは水の中だと思うのですが、植物全体が水に沈んでいるんですか？上部が水から出ているんですか？

私：イトモは1年生植物といって、毎年秋には種をつけて枯れる植物です。全体が水に使っていて水になびいている感じです。

A：仮移植にあたって大変だったことはありますか？

私：イトモは1年生草本ですので、仮移植はリスクが高いと考えています。

B：仮移植ではなく本移植ってことですよね？

私：はい。

B：移植は、こう、根っこを抜いて1本1本移植したんですか？

私：前回の移植はそうやっていました。当社ではないんですが、それで失敗していたので改善策として、米農家さんが使う育苗箱を用いて、ドロごと個体を受けて移植しました。

B：水草を移植する際、水分が飛ばないように苦労しましたか？

私：この育苗箱の中には礫面マットという石が機材のスポンジのようなものが入っていたので、保湿に効果的だったと思います。

B：移植地まではどのくらいの時間がかかったのですか？

私：20分ほどです。距離にして8km程度だったと思います。

B：その間の水分はどうしましたか？

私：ジョウロなどを事前に用意していましたが、結局補給することはありませんでした。

B：業務内容の詳細で苦労したことはありますか？

私：農家さんは普段からツキノワグマが生息する地域で仕事をしていることから、ベテランバイアスみたいなのがかかって危機感を持ってもらうのに苦労しました。

B：この農家さんとはどういう人ですか？

私：あの、農家さんっていうとおじいちゃんみたいな方を想像すると思うのですが、若い人たちが会社を作って営農しています。山岳救助の関係で私と知り合いでした。

B：守秘義務とか差し支えなければ、一日どのくらいで雇われたんですか？また、何人雇ったんですか？

私：一日●万円できてもらいました。4名雇いました。

B：技術士をお持ちだと思うんですが、いつ取得しましたか？

私：平成26年度試験です。

B：それから約10年ですか・・・総監は何回目ですか？

私：2回目です。

B：技術士をお持ちなので、なんというか、業務の要件は満たしていますよね？そういった中で総監を取得することでメリットはありますか？

私：次長という立場になって、これまでは単独の業務を専門技術で解決してきましたが、現在は組織全体のマネジメントを求められています。次長になった翌年から受験を開始しました。

B：総監の勉強をするだけでなく、資格を取得しようと思った理由はなんですか？

私：総監のマネジメントスキルを持っている証として資格が欲しいと思い受験しました。

B：次長さんということでNo.2だと思うんですが、日頃気をつけていることはありますか？

私：当社は人的資源管理として人材育成が弱いので、これに取り組んでいます。

B：あなたの会社では技術士の取得をすすめていますか？

私：私の会社では技術士を取得した人がいませんでした。私が取得してから外部から講師を招いてOFF-JTの年間計画を策定して実施しています。また、最初から技術士というのは難しいので、例えば20代のうちにピオトープ管理士に受かるとか、目標を作ってクリアすることで自己実現インセンティブとなって意欲が続くようにしています。

A：技術士がいらっしゃらなかったとのことですが、それでも仕事は受注できていたんですか？

私：当社には応用理学の技術士がいるのですが、技術士を持っている状態で入社していません。

B：では、あなたが若い方たちを引っ張って活躍されているんですね。

私：はい。

A：技術士に受かりそうな人はいますか？

私：はい。2名ほど見込みがあると思っています。

B：受験しているんですか？

私：いや、まだ受験資格がないので受けていません。

B あなたの会社では技術士に受かると一時金みたいなのがあったり、給料が一段階あがったりすることはありますか？

私：一時金はありませんが、毎月、えっと、びっくりするくらいの手当がつきます。

B：あの、差し支えなければおいくら・・・

私：毎月●万円です。

(試験官がふたりとものけぞる)

A：それって凄いですよね。年間●万でボーナスにも響くだろうし(笑)

私：ええ、それでも受からないって(笑)

B：会社の中で活躍されていることがわかりました。これであなたの口頭試験を終わります。お疲れ様でした。

ありがとうございます。と言って部屋を出ました。階段を下りている途中で時計を確認したところ 11:05 でした。おそらく試験は 11:04 で終了したと思います。試験室の前に座っている受験者がいなかったなので休憩？

H29 年度に口頭試験で落ちたときも次の受験者がいなかったような・・・

感想

試験官はふたりとも温和でした。世間話のような感じで、全然総監っぽいことが聞かれず手応えはありませんでした(俺が気づいていないだけ?)。質問が B にうつっても、たまたま A が質問を挟んでいました。総監っぽくない質問に対しては短く解答するようにつとめました。35 問以上の質問がありました。

この再現を見直しても、どうやって総監っぽく答えればよかったのかわかりません。

筆記の合格発表から 2 ヶ月間、必死で勉強しました。私は SUKIYAKI 塾の講師として活動していたので、そのコネをフルに使って、多くの講師の方からご指導をいただきました。感謝でいっぱいです。この 2 ヶ月間で勉強したことを、今後は自身の業務の中で活用してことで総監スキルを向上させていきたいと思っています。

7, 合格発表

口頭試験終了後は、なるべく合格発表のことは忘れて過ごそうと思っていましたが、結局毎日のように考えて2ヶ月を過ごしました。

3月13日合格発表当日。いつもどおり4時に起床してランニング。シャワーを浴びて猫に餌をやったところで5:55でした。恐る恐る技術士会のHPを開きました。画面をスクロールして行って・・・ありました！同選択科目の総監受験者は私一人だったのですぐにわかりました。口頭の発表はいつもですが、筆記試験の合格発表のような歓喜はありません。ホッとしました。

総監の勉強で培ったスキルは必ず会社の役にたつと思っています。私のように管理職になった人にとっては、とても有意義な資格です。これからは、総監スキルを使って少しでも会社をよくしていけるように努力していこうと思います。

8, 最後に

私の業務経歴では、この受験が最後の技術士受験になると思っています。振り返れば12年間で9回受験して、筆記：4勝5敗、口頭：3勝1敗でした。自分にしてはよくやったなと思います。13年前の最終目標は環境部門の技術士になることでした。それが、ここまで頑張れたのはSUKIYAKI塾の仲間たちのおかげだと思っています。これからも恩送りとしてSUKIYAKI塾の活動に参加していければ嬉しいです。

私は小学校から高校まで勉強が苦手で成績はいつも下位でした。だから、勉強には劣等感を持っていました。それが技術士受験をとおして、「俺でもやればできるんだ」という自信を持つことができました。これからは何にでも自信を持って挑戦していきたいと思っています。今はうどん打ちに挑戦したいです^^;